

令和7年度施政方針（抜粋）

本年は3つの節目の年であると考えています。1つ目に、戦後80年。2つ目に、阪神・淡路大震災から30年。3つ目に、大阪・関西万博の開幕であります。

誰もが平和で幸せな暮らしを享受できる権利を持っていること、またそのために人々は支え合いながらさまざまな困難を乗り越える力を持つていること、そして戦争と震災の経験を踏まえつつ、より良い未来をめざして私たちが生きる大阪・関西の魅力を世界中に広げていくこと、以上3つの事柄をしっかりと踏まえ、今

年度の市政運営にあたっていきなりたいと思います。

一昨年の所信表明以来申し上げていますように、「人口減少」並びに「定常型社会」といわれる時代を迎えた今日、私たちは決して後ろ向きになるのではなく、逆に全国それぞれの地域独自の発展の可能性が高まっている好機ととらえ、富田林の人と地域が持つ価値と可能性に目を向け、その可能性を広げ、新たな価値を生み出していくことで、富田林だからこそ実現できる豊かな未来を皆様とともに力強く創造していきたいと思いま

す。まちは、市民と行政の協働による創造物です。富田林市は、もっともっと良いまちなります。市民の皆様とともに力を合わせ、「人とまちがにぎわい、こどもたちをはじめすべての市民の笑顔があふれる、麗しの富田林」を創っていくために、一つ、ひとつ、未来に向かって、今後とも全力で取り組んでまいりますので、市民の皆様のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。私の令和7年度施政方針とさせていただきます。

富田林市長 吉村 善美



※施政方針の全文は、市ウェブサイト（市長の部屋のページ）でご覧いただけます。



令和7年度予算

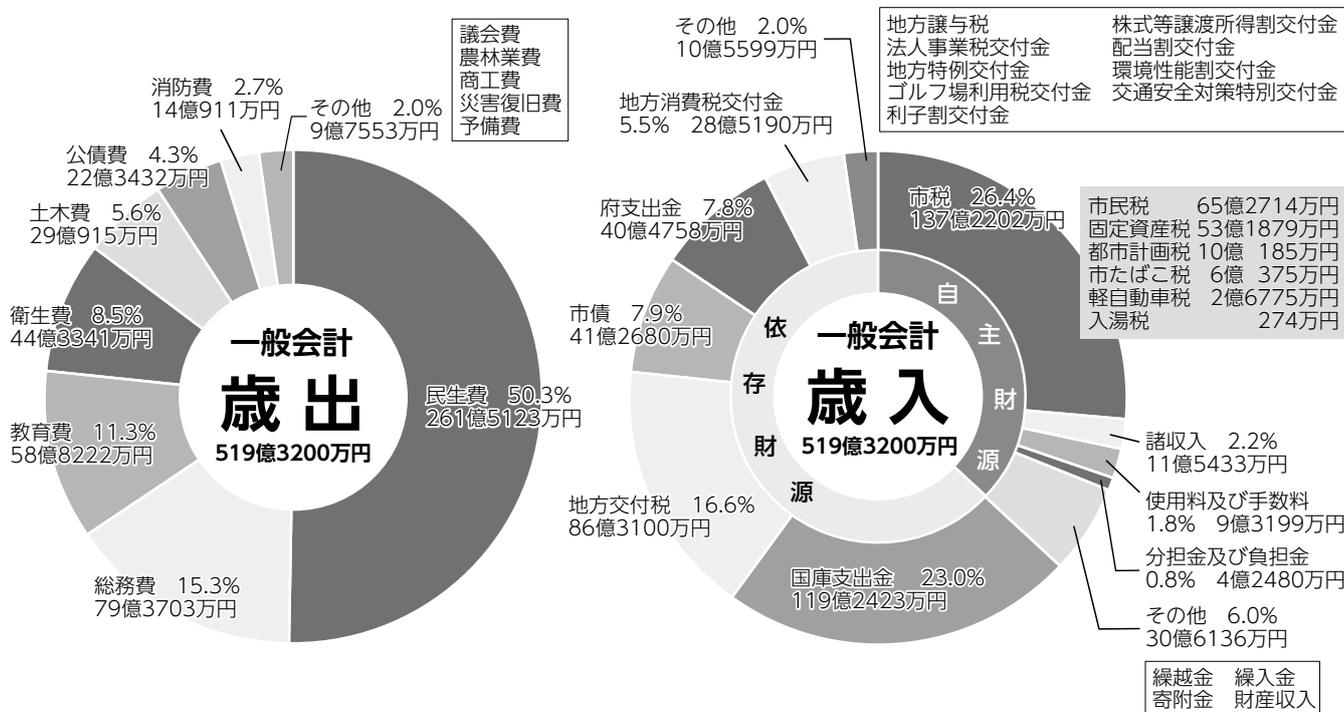
「二つ、ひとつ、未来へ」前進！

令和7年度予算は、大阪・関西万博にて本市の魅力をアピールするとともに、引き続き、「市民とともにつくる。市民が幸せになる。市民本位の市政！」の実現に向けた予算編成としました。

関財政課（内線335）



一般会計 519億3200万円
 特別会計 275億7959万円 総額 845億9430万円
 公営企業会計 50億8271万円



■市民一人あたりに計算すると

令和7年度の一般会計予算を、令和6年12月31日現在の住民基本台帳人口に基づき、市民1人当たりの額に換算すると下表のとおりになります（目的別の額）。

民生費 247,375円	総務費 75,080円	教育費 55,642円	衛生費 41,937円
土木費 27,519円	公債費 21,135円	消防費 13,329円	農林業費 3,824円
議会費 3,027円	商工費 1,810円	災害復旧費・予備費 568円	合計 491,246円

■会計別予算額

区分	令和7年度予算額	昨年度比
一般会計	519億3200万円	15.38%
特別会計	財産区	1855万円 △85.30%
	国民健康保険事業	121億6013万円 △2.86%
	介護保険事業	127億3608万円 3.10%
	後期高齢者医療事業	25億1440万円 3.69%
	南河内広域行政共同処理事業	1億5043万円 △21.04%
	計	275億7959万円 △0.12%
	公営企業会計	下水道事業

用語チェック！

民生費：高齢者福祉、障がい者福祉、生活保護、保育・子育てなどに使うお金

衛生費：保健指導や予防接種、ごみの収集・処分などに使うお金

公債費：市の借金である市債を返済するために使うお金

土木費：道路や橋梁きょうりょうの維持・整備、公園の運営・整備などに使うお金

自主財源：市が自主的に収入できる財源など

依存財源：国や府から交付される財源など

令和7年度予算 主な実施事業



①すべての子どもを、みんなで応援するまちづくり

「こどもの権利に関する条例」の制定に向けた取り組み

963万円

令和7年度中の制定に向け、子どもたち自身が条例検討に参加する「こども会議」の開催、子ども版パブリックコメントの実施やシンポジウムの開催などを予定しています。



「エプロン先生」を全小学校に配置

1139万円

新1年生の学校生活をサポートする「エプロン先生」（教員業務支援員）を全小学校に配置します。



小・中学校給食の無償化（小学校：1学期分、中学校：20食分）

8655万円

国の交付金を活用し、小学校給食を1学期分、中学校給食を6～10月に実施する20食分無償化します。



小・中学校、幼稚園の給食材料費の物価上昇分を支援

4978万円

国の交付金を活用し、物価高騰による給食材料費の上昇分を支援します。

②すべての市民の暮らしを支える住民福祉の増進

災害用トイレトラックの導入

2701万円

全国の参加自治体による災害派遣トイレネットワークプロジェクトに参画し、トイレトラックを導入します。



イメージ

戦後80年に関する取り組みの実施

348万円

戦後80年の節目を迎えるにあたり、戦争体験者の声を取めた映像の作成など、各種取り組みを実施します。



今年は、親子平和の旅を広島に加えて長崎にも派遣

新庁舎の建設に本格着手 30億8801万円

市庁舎北館部分の解体工事が完了したことにより、令和7年度からは本格的に新庁舎の建設に着手します。
※新庁舎の仮オープンは令和9年9月ごろ、グランドオープンは令和11年4月ごろを予定しています。



外観イメージ

③人とまちが賑わい、地域の魅力と可能性を開くまちおこし・地域おこしを推進

奨学金の返還支援 306万円

本市への転入・定住促進や市内中小企業の担い手確保を目的に、若者世代を対象とした奨学金の返還支援を実施します。



農業公園の再オープンに向けた取り組み 1億3364万円

農業公園の再オープンに向けて、新たな指定管理者への運営委託と、既存施設の修繕などを行います。



水道基本料金の2カ月分減免(4・5月検針分) 7807万円

国の交付金を活用し、市民および市内事業者などの水道基本料金2カ月分(1世帯あたり1592円)を減免します。なお、令和2年度から今回を含めて計16カ月分の基本料金(1世帯あたり1万2530円)の減免を行っています。



④行財政改革・市役所改革の継続と市民サービス向上の両立を追求

生成AI技術の導入 114万円

生成AI技術を用いて、文書作成や企画立案、調査・分析の補助など、自治体業務の効率化を推進します。



窓口業務支援システム「書かない窓口」の導入 4306万円

来庁者の申請手続きの簡略化と窓口業務の効率化を図るため、「書かない窓口」を導入します。



イメージ

万博

- ・大阪・関西万博会場で実施される「大阪ウィーク」などにブース出展(文化財の展示や特産品の販売、伝統工芸品のPR、アートの展示など)
- ・市独自で子ども無料招待事業を実施
- ・大阪ウィークに出演する団体などへの助成
- ・大阪府子ども招待事業における小・中学生のバス費用を支援



その他の本市の取り組みはこちら▶



大阪・関西万博公式キャラクターミャクミャク ©Expo 2025

他にもさまざまな施策に取り組めます

- | | |
|--|--|
| <p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校水泳指導の民間委託モデル実施を拡充 ・全小・中学校に新たに1人1台端末を配備 ・全小・中学校の体育館へのエアコン設置に向けた設計 ・市内4カ所に地域子育て相談機関を設置 | <ul style="list-style-type: none"> ・こども計画の策定 ・子育てアプリの運用を開始 ・見守りおむつ定期便事業の継続実施 ・産後ケア事業の充実 |
| <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時障がい者支援用スカーフの避難所配備および配布 ・児童館の耐震改修工事、工事期間中の一時移転 ・粟ヶ池共園遊歩道の整備 ・障がい者千人雇用をめざした障がい者雇用会議の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症シンポジウムの開催 ・市民向けインターネットリテラシー研修の実施 ・南海バス、近鉄バスの乗り継ぎ割引実証実験 ・金剛ふるさとバスの運行 |
| <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金剛中央公園・多機能複合施設の整備・運営に向けた事業者選定 ・中学生、高校生を対象に、地元愛の醸成を目的としたイベントを開催(若者会議提案事業) | <ul style="list-style-type: none"> ・市内養鶏事業者と公共交通事業者(バス、タクシー)への支援 ・市民総合体育館の主競技場にエアコンを設置 ・観光周遊アプリの機能拡充 |
| <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所窓口などに軟音伝導イヤホンを導入 ・地理情報公開による市民サービスの向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の全ページカラー化(5月号より) ・国勢調査の実施 |